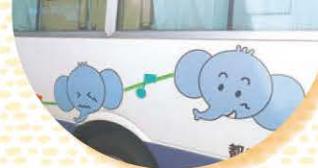


東京都福祉局

東京都立 北療育医療センター

看護師募集案内



Tokyo Metropolitan Kita Medical and
Rehabilitation Center for The Disabled

一人ひとりの笑顔を大切に 看護の原点がここにある

北療育医療センターの理念

- ① 障害児・者の生命を尊重し、最善の医療と療育の提供に努めます
- ② 障害児・者が全ての人権及び基本的自由を完全に享有して、いきいきと安心な生活が送れるように、社会参加を積極的に支援します
- ③ 障害児・者的人権、意思、生活、要望を尊重し、本人の尊重や利益が損なわれないように、利用者の立場が損なわれないように、利用者の立場をよく理解します
- ④ 障害児・者の意思や行動を柔軟に受けとめ、共感し、共に向上できる職員であることに努めます
- ⑤ 障害児・者の家族の良き相談相手になるとともに、良き協力者になります

看護科の理念

私たちは北療育医療センター運営理念を基に、障害児・者の個別性を尊重し、高い専門性を持って心のこもった看護・療育を提供します





施設案内／沿革／事業内容



施設案内

医療

外 来 12診療科を備え、各科あわせて1日約200名の受診者に対応しています。
診療科目 内科・脳神経内科・小児科・整形外科・精神科・皮膚科・泌尿器科・
耳鼻咽喉科・外科・眼科・歯科・リハビリテーション科

療育

入 園 (医療型障害児入所施設、療養介護) 30床
入 所 (療養介護、医療型障害児入所施設) 40床
通 園 (医療型児童発達支援センター) 40床
通 所 (生活介護) 30名

沿革

昭和37年7月 都立北療育園(肢体不自由児施設)
昭和40年4月 通園事業開始
昭和44年6月 城南分園
昭和45年7月 城北分園
昭和60年7月 北療育医療センター(120床)(総合的医療機能備えた)
平成9年7月 B1病棟開所(重症心身障害児者病棟)
平成19年度 肢体不自由児病棟が縮小(B2病棟閉鎖)
平成20年4月 重症心身障害者通所施設が開所

事業内容

医療

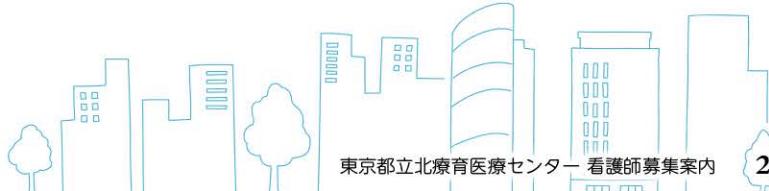
一般的医療機関では対応が難しい心身障害児・者への診療を行っている。

療育

肢体不自由や重症心身障害児・者に対し治療を行うとともに、それぞれの必要に応じて、機能訓練・言語治療・生活指導・レクリエーションの提供などをとおして発達支援や生活支援を行っている。

地域・在宅支援

障害児・者への支援事業として短期入所事業を実施している他、在宅看護・療育に関する各種の相談や指導を看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理指導職員、MSW等が行っている。また、保育園・幼稚園・学校・保健所・地域障害児・者施設等の職員に対し、医師も含めた専門職が訪問する等支援を行っている。さらに、知識の関係者への公開講座を実施するなど、地域・在宅支援を実施している。





部 署 紹 介



A1 病棟

A1 病棟は、小児科・整形外科・眼科の 25 床です。医療依存度の高いお子さんが多く、学習の機会や療育の機会が持てるよう、多職種と協力してサポートしております。

スタッフは看護経験のみならず、人生経験の豊富な看護師が沢山いるため、家庭との両立・ライフワークバランスに関して新人看護師にいアドバイスができると思います！



A2 病棟

A2 病棟は、成人期にある重症心身障害者の方への医療と看護を提供しています。気管切開や人工呼吸器を装着された方の吸引や、呼吸管理等の全身管理、また短期入所の患者さんを受け入れ、ご家族が休養できる時間をつくるための支援をしています。言葉によるコミュニケーションが難しい患者さんがいらっしゃいますが、一人ひとりに寄り添い、関わりを大切にしています。



B1 病棟

B1 病棟は、重症心身障害児・者を対象とした病棟です。運動障害、コミュニケーション障害、呼吸障害、摂食障害があり、医療処置の必要な入所者が多くなっています。「入所者の安全・安心とご家族からも信頼が得られる質の高い障害者医療・看護・療育の提供」を目標に、医師、看護師、保育士、看護補助者の多職種がチーム一丸となって入所者の看護を行っています。



B3 病棟

B3 病棟は、重症心身障害児・者等を対象とし、福祉職・訓練士等多くの職種と協働して、医療と日常生活支援を行う病棟です。

登校する児童、調理やゲーム等の活動を楽しむ幼児等個々の成長期に合わせた療育の提供に努めています。笑ったり!時には泣いたり!子供達の“サイン”を大切に、潤いのある生活を目指しています。



手術室

北療育医療センターは整形外科の手術を行っており、整形外科医師、看護師、臨床工学士がチームとなって安全な手術ができるよう協働しています。看護師は各部署からの助勤で手術を担当しています。私たちは患者さんの不安を軽減し安心して手術に臨めるように、入院前の麻酔診察から術後まで継続的な関わりで、顔が見える看護を提供しています。



外 来

外来は12診療科があり、発達障害や肢体不自由、医療的ケアを必要とする方が、複数の診療科を長期に亘って受診している方が多くいらっしゃいます。診療場面の中で、患者さんの成長発達をご家族と共に喜ぶ経験が多々あります。外来では診察の待ち時間や診察後に、患者さんやご家族と話をする機会を作り、寄り添う看護を大切にしています。



歯 科

一般医療機関では対応が困難な障害児・者に対する障害者歯科医療を小児・成人それぞれを専門とする歯科医が行い、口腔ケアを歯科衛生士が中心に行っています。外来診療を軸に、入院・入所・通園・通所利用者の口腔から全身への健康に貢献できるよう取り組んでいます。



在宅支援室

在宅支援室は重症心身障害をお持ちの方が、住み慣れたご自宅で安全に医療を継続し、安心して生活ができるように支援させていただきます。そして、地域の医療機関・訪問看護ステーションとも連携で、きよう調整の窓口になっています。



訓 練 科

センターのすべての部門で、乳幼児から老年にわたる幅広い年齢層の利用者さんに理学療法・作業療法・言語聴覚療法を行っています。そして、発達を促すアプローチとともに補装具の作製や生活上の助言など、ライフサイクルに合わせた対応に努めています。また、利用者さんの地域生活を支える目的で保育園や学校に出向き、職員に指導や助言をしています。



通 園

心身に障害のある就学前の乳幼児およびそのご家族を対象に、保育、給食、リハビリを提供しています。年齢や機能にあった遊びを通じて、お子さんの意欲を育て、発達を支援し、ご家族も我が子との生活を楽しめるよう、様々な職種がチームとなって支援を行っています。ご家族と共にお子さんの成長を分かち合う場が通園です。



通 所

重症心身障害をお持ちの在宅の方が日中通って来られる部門です。

利用者の皆さんには職員添乗のバスで送り迎えしています。通所中は体調を整え、活動を楽しみ、希望者には週に1回の入浴支援を行います。利用者の皆さんのが、朝来た時よりも元気になって、「楽しかった」というおみやげを持って帰れるこことを目標にしています。



職員紹介

北療育医療センターでは、若手から熟練者まで幅広い層のスタッフが重症心身障害児・者とそのご家族の支援をしています。



キャリアアップ

看護実践の上で必要な妥当性の高い臨床推論のためには、継続学習を行うことが必要不可欠です。学ぶことで患者さんに生じている問題を特定し、必要なケアを的確に考えることができます。その結果、患者さん・ご家族のこころとからだのより良い状態を保ち、個人の力をエンパワーメントしていくことに繋がります。私はそこにやりがいを感じています。

子育て・介護支援

私の病棟には子育て経験者の職員が多く、理解と支えのある職場です。子育ての悩みも相談しやすいです。子どもの急な体調変化によるシフト調整や様々な支援制度、子育てに理解があります。困ったときはすぐに声をかけてくださいり、安心して働く環境で、子どもと一緒に成長することができます。



男性看護師

長期入所されている方々と深く関わる中で、日々の小さな変化に気づき、寄り添う看護の大切さを実感しています。医療的ケアだけでなく、生活支援や心の交流を通じて、その人らしさを支える仕事にやりがいを感じます。男性看護師としても力を発揮できる場面が多く、チームの連携も良好で働きやすい職場です。

通所で働く看護師

通所に来られる利用者さんの医療面におけるサポートをさせて頂いています。医療ケアを必要とされる利用者さんも多く大変なこともありますが、日々利用者さんの笑顔に元気をいただき、毎日楽しく働いています。スタッフは皆互いに助け合い、笑いの絶えない職場です。



🍀 通園で働く看護師

心身障害児や医療的ケア児・発達障害のある就学前乳幼児を対象に、日々の健康管理とそのご家族への支援を行っています。

子供の心身の健康な育ちに大切な「遊び」に楽しく取り組め、様々な行事に参加できる方法について検討するのも看護師の大きな役割です。医師や多職種と連携を図りながら児とその家族を守る看護を行っています。



城北 分園

城北分園は、足立区にある区東北部の方が主に利用されている施設で、平成25年に建て替えをしています。

肢体不自由等のお子さんの親子通園支援や保育所等訪問支援、重症心身障害者の方への通所支援、発達に心配のあるお子さんへの外来診察やりハビリなど、多職種で協働し、最善の医療と療育の提供を目指しています。

足立区
南花畠に
あります♪



🍀 城北分園で働く看護師

城北分園は障害児・者の外来通園通所を行っています。日勤職場で育児や介護等に関する制度を活用してキャリアの継続が可能です。私も子育て支援制度を活用し、家族との時間を大切にしています。仕事では、経験豊富な仲間と共に楽しく働き、感染予防委員として有意義な取組を重ねる事が、自己能力向上に繋がっています。

城南 分園

大田区・品川区・目黒区等、城南地区にお住まいの心身障害児・者に医療・療育・生活介護等を提供しています。

駅から洗足流れという小川に沿った道を10分ほど歩いた先にある施設です。規模の小さな施設なので、医師、看護師、保育士、コメディカル等が連携しやすく、利用児・者1人ひとりにじっくり向き合うことができます。

洗足池駅
から徒歩
10分♪



🍀 城南分園で働く看護師

生活介護事業は呼吸器管理を含めた医療ケアを行なながら、利用者さんが楽しめる場やご家族のレスパイトの場を提供しています。最初は病院と療育の違いに戸惑いましたが、今では在宅支援の一角を担っている事に喜びを感じるようになりました。多職種がお互いの専門性を發揮してチームで働く楽しい職場です。



新人看護師が語る 看護の魅力

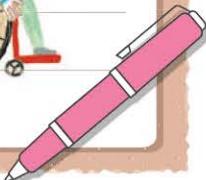
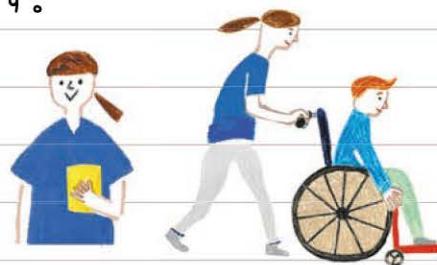
STAFF's
VOICE



私が北療育医療センターを知ったきっかけは、東京都のホームページを見たことでした。実際に訪れると、利用者さんとスタッフの皆さんがとても生き生きとしているのが印象的でした。

重症心身障害児・者の看護については全く知識がありませんでしたが、このセンターのスタッフとして働きたいと思い、入職を希望しました。始めはわからない

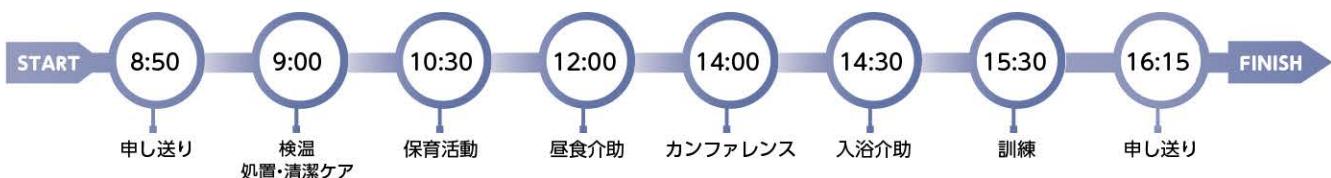
ことが多くありましたが、今は毎日のケアの中で利用者さんの笑顔が見られたり、少しずつ利用者さんに頼っていただっこが増えたりしてうれしいことが増えています。



新人看護師 の1日

日 勤 (8:45~17:30)

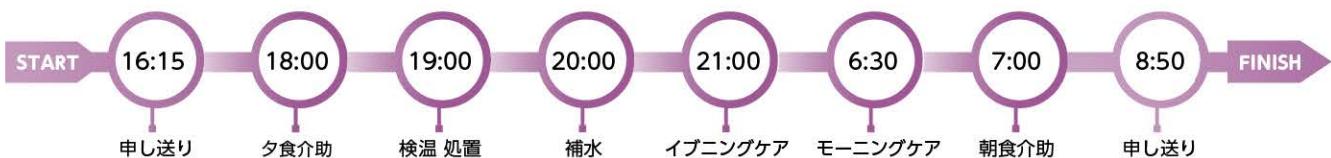
病棟の日常は同じ事ではなく、ケアやコミュニケーションなど個別性があり、難しいことが多いです。しかし、不安なケアやできないところは自分が自信をもってできるようになるまで繰り返し、先輩方から教えてもらっています。まだたくさん学ぶことはありますが、一人でできることも増え、仕事が楽しく感じられるようになりました。親身に話を聞いてくださる上司、丁寧に何度も教えてくださる先輩方に感謝し、日々成長できるよう頑張っています。



夜 勤

(変則2交代の場合 16:15~9:15)

4月の研修を経て、A2病棟に配属となりました。夜勤はシャドウイングを含めた三回の研修で、少し自信がついてからひとりだちとなりました。利用者さんの翌日のスケジュールに合わせてケアの内容を考え、人工呼吸器のケアや利用者さんが安心して休めるようなケアを行います。まだ不安もありますが、困ったときに相談しやすい環境が整っているため、安心して取り組むことができています。自分のできることも増え、さらに成長していきたいと感じています。利用者さんの笑顔や安心して過ごされている様子にやりがいを感じています。



新人研修

院内研修の様子 (臨床研修・基礎レベル研修)



「食事支援」



「輸液・採血」



「院内救命講習会」

摂食・嚥下障害看護認定看護師による、
体験型の食事支援方法

輸液作成、輸液ポンプやシリンジポンプ操作、採血の講義、採血モデルを使用した採血の演習

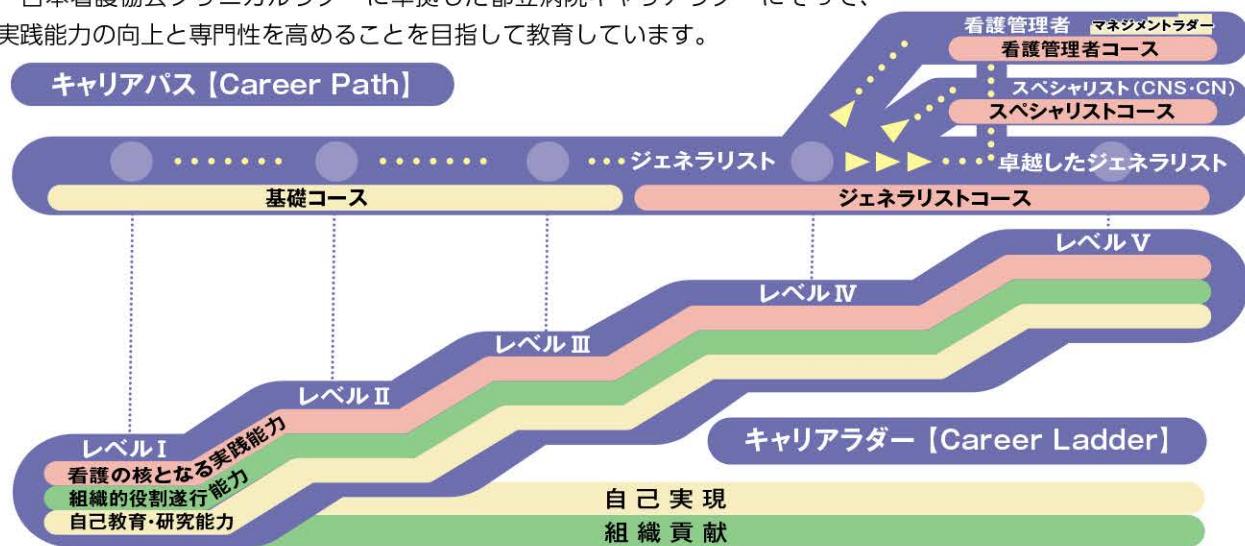
BLSプロバイダー修了者による、急変時対応シミュレーションの指導

研修体系

● 東京都【キャリアラダーについて】

日本看護協会クリニカルラダーに準拠した都立病院キャリアラダーにそって、実践能力の向上と専門性を高めることを目指して教育しています。

キャリアパス [Career Path]



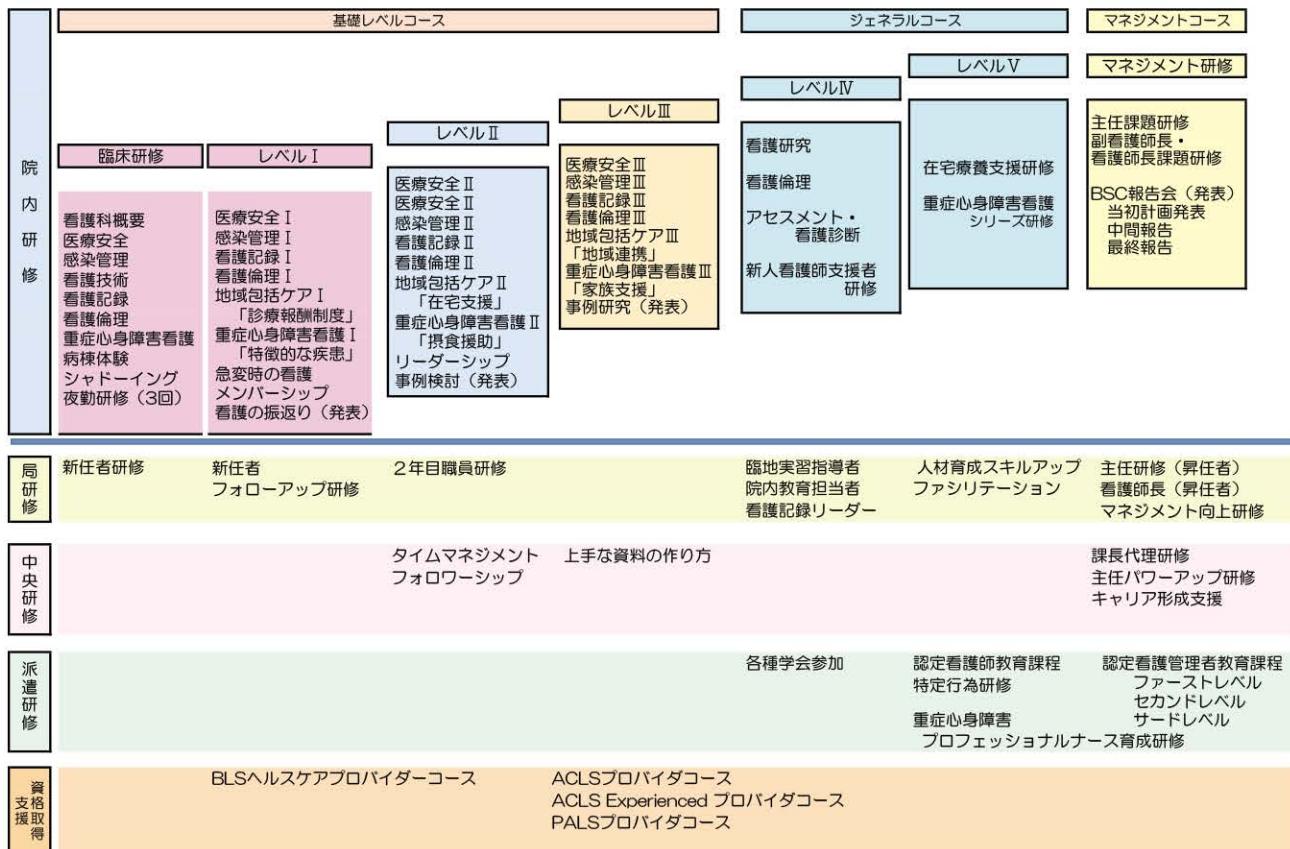
● 院内研修

北療育医療センターの研修は、重症心身障害児・者の特徴や基本的な知識や技術を学び、看護実践力を身に着けることを目指しています。卒後1～3年目の基礎レベルコースは医療安全・感染管理・看護倫理など学びます。4年目以降ジェネラルコースでは「在宅療養支援」研修では訪問看護ステーションの体験研修を行っています。「重症心身障害児者看護シリーズ」研修は、専門知識を有する院内外の講師から学び、重症心身障害児者看護の実践力を高める研修です。「看護研究」研修は成果を学会等に発表して看護の質の向上に努めています。

「新人看護師臨床研修」は、新人看護師に対して4月から約3か月間集合研修と職場内教育を実施し、看護実践力の育成を図ります。新人看護師一人に指導者が一人つき、部署全体で支援する体制です。

● 院外研修

東京都職員研修、福祉局研修など、院外研修の派遣や資格取得支援制度もあります。



認定看護師連絡会

～当センターで活躍する認定看護師～

連帯看護師連絡会は、日本看護協会の認定看護師と日本重症心身障害福祉協会認定の重症心身障害看護師が活動しています。院内研修・セミナーやコンサルテーションを通して必要な知識と技術を職員に指導しています。また、訪問看護ステーションや特別支援学校、幼稚園・保育園および地域の事業所等に出向いて「出張勉強会」を行っています。



認定分野

感染管理 摂食・嚥下障害看護 がん性疼痛看護 慢性呼吸器疾患看護
特定行為研修修了者 重症心身障害看護師

感染管理



慢性呼吸器疾患看護
特定行為研修修了者



摂食・嚥下障害看護



重症心身障害看護師



チーム医療



認定看護師を中心に各科の医師等多職種での活動により、
症状緩和や意思決定支援、ACPなど患者・利用者とその
家族に対してQOLの向上を目指しチームアプローチします。

緩和ケアチーム



季節のイベント



鯉のぼり



プール

B3病棟の子供たちは、夏休み期間中、通園にあるプールで日中活動をします。水しぶきと共に子供たちの歓声が聞こえとても賑やかです。

8月に行われるイベントです。
B1病棟は盆踊り、入所者の太鼓に合わせて院長も参加し楽しい時間を過ごします。



夏祭り

毎年恒例の夏を彩るイベントです。B1・B3病棟の入所者、通園の利用者の方が、手持ち花火、打ち上げ花火、ナイアガラの花火を楽しんでいます。



花火大会



北療育医療センターでは1年を通して、患者・利用者の方々が季節を感じることができるように、さまざまなイベントを実施しています。患者・利用者の方々が豊かに生活を送れるように支援しています。



交流会



4月入職職員の交流会を行いました。職種を超えて顔の見える関係作りをしています。

11月にはセンター全体で「北療INフェスタ」が行われ、職員等からの出し物やゲームで盛り上がります。



介護支援器具紹介

リフト



患者さんを安全に移動し、看護師や福祉職への身体的な負担を軽減するために使用している介護支援器具です。

マッスルスーツ®



患者さんを移動する際の看護師や福祉職の腰への負担を軽減する介護支援器具です。

スタッフの余暇・趣味・特技

✿ クラシックバレエ

私の趣味はクラシックバレエです。シフト勤務のため、空いた時間にクラスレッスンを受けることができるスタジオに通い、また職場近くのスタジオを借りてひとりで練習しています。発表の場として、大人向けのコンクールがあるので、そちらに出場しています。生ピアノに合わせてのレッスンや、衣装を着けての発表は、身体と頭をリセットしリフレッシュすることができます。



✿ お 箏

私は学生の頃より箏を習っています。趣味を楽しむ時間はとても楽しく、だからこそ仕事の時は全力で取り組み、より良い仕事になるように努めることができます。職員同士でも趣味に話を聞いてもらうことや趣味を続けていくための理解をしていただくことも度々あり、とてもありがとうございます。



✿ スカッシュ

球技を観戦することや行なうことが好きで、今は毎週スカッシュのスクールに通っています。日勤後に行くことが多い、仕事はみんなで定時に終了できるよう協力しているので、勤務後の予定が立てやすいと思います。20代の頃は、毎月のようにライブで遠征していました。休日の考慮もしていただけるので、仕事も頑張れると思います。



✿ 園芸部

薔薇好きが偶然集まり自然発的に『B1園芸部』ができました。薔薇についての情報交換や写真交換をしつつ、育成について叱咤激励し互いを鼓舞し日々邁進しております。また、春・秋の薔薇シーズンには、各部員が育てた花を愛で褒め称え合い、和気あいあいと楽しんでいます。薔薇に出会いそれを分かち合える仲間と出会えたことはNO ROSE NO LIFE。



✿ 華 道

私は長年続けている生け花で気分転換することが楽しみの一つです。四季折々の花や樹木に触れ、自分で作品を作ることは季節を感じられ心身のリラックスに繋がります。同じ花材でも生ける人によって全く違う作品が出来上がるんですよ。年代も職業も違う仲間たちと、お互いの作品を鑑賞しあう時間を楽しんでいます。



✿ マラソン

北療育医療センターには、実はマラソンを趣味としている方が多くいます。体力作りで走っている方から大会に出場し本格的に走っている方まで様々です。

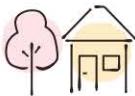
私はマラソン素人ですが、病棟のマラソン達人に誘われて、病棟メンバーでチームを組み仮装をしてエンジョイリーマラソン大会に参加しました。

走りの結果はさておき仮装大賞をいただく事が出来、良い思い出になりました。

福利厚生：職務住宅

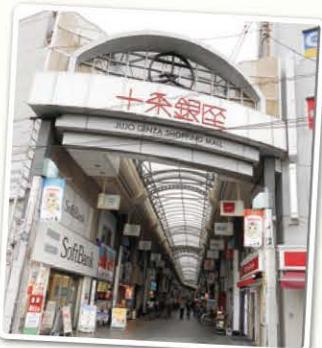
職員宿舎は、借り上げマンションを提供しています。北療育医療センターの最寄り駅でもある「十条駅」のすぐ近くで、買い物にも便利な場所にあります。

十条商店街が近くあり、買い物にも便利な場所にあります。池袋も近く休日には気分転換にワインドウショッピングや映画など余暇を楽しむことができます。



周辺環境

北療育医療センターの周辺をご紹介!!



池袋

流行の最先端である池袋は様々なお店や水族館、映画館、カフェなど人気スポットが盛りだくさんです。



飛鳥山公園

八代將軍徳川吉宗が桜の名所に仕立てた王子駅に近くにある公園です。「アスカルゴ」というモノレースがあり、高齢者・障害者・ベビーカー利用者が気軽に利用できる公園です。



中央公園

明治から昭和にかけて軍用地として利用され、戦後の野戦病院を得て広大な公園に整備されました。野球やテニスコートなどのスポーツ施設などがあります。

十条商店街

東京の3大商店街の一つで、十条駅前にあるアーケードの商店街です。しばしばテレビ番組でも紹介され「美味しいもの」に出会える場所です。



中央図書館

平成20年に十条台の旧六朝自衛隊十条駐屯基地275棟の赤レンガ倉庫を改装・増築してオープンしました。



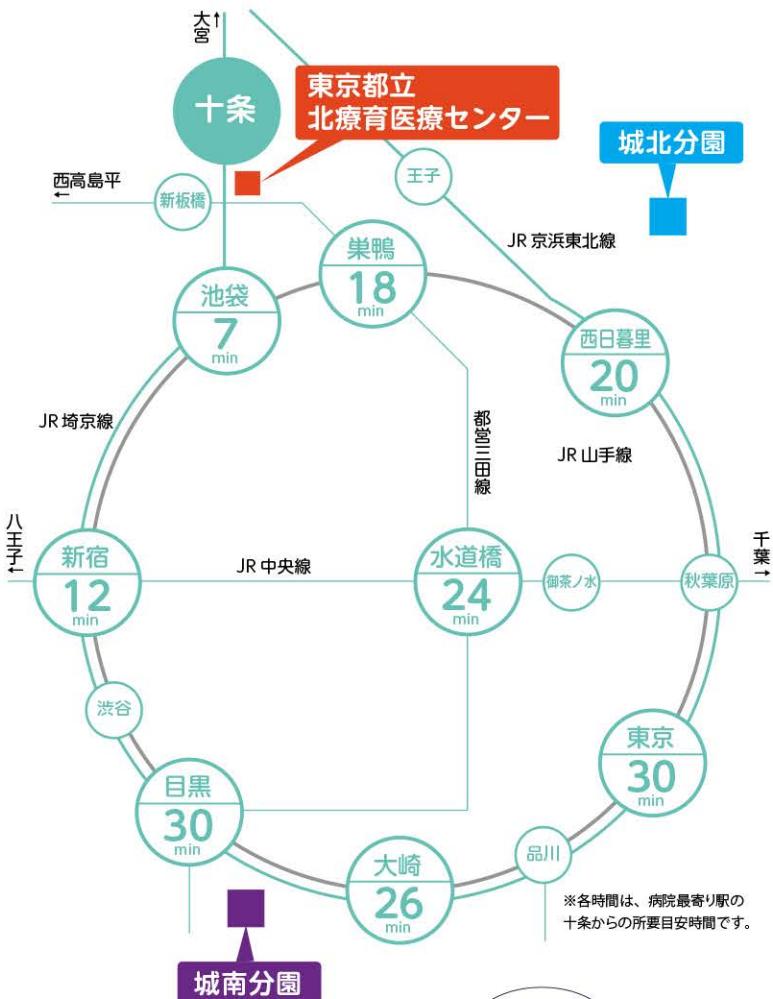
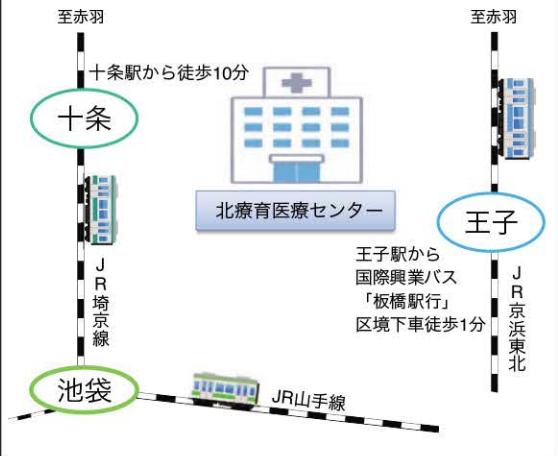
障害者スポーツセンター

障害のある方々の健康増進と社会参加を促進するための障害者専用のスポーツ施設です。北療育医療センターとは災害時など連携している施設です。

アクセス ACCESS

好アクセス！
通勤・生活に便利！

- 都営三田線「新板橋」駅から徒歩15分



インターンシップを行っています

年2回実施しています 春休み期間：3月 夏休み期間：8月

看護科キャラクター
きたりょん

重症心身障害児・者の看護の魅力を体験してみてください。～詳しくはホームページをご覧ください～

平日随時実施中です
経験者も随時実施中

連絡・問合せ先

03-3908-3001 (代表)
内線207または208 看護科

● 東京都立北療育医療センター

〒114-0033 東京都北区十条台1-2-3

TEL.03-3908-3001 (代表) / FAX.03-3908-2984

<https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kitaryou/>



【城北分園】

〒121-0062 東京都足立区南花畠5-10-1
TEL.03-3883-5131 (代表) / FAX.03-3885-9675

【城南分園】

〒145-0065 東京都大田区東雪谷4-5-10
TEL.03-3727-0521 (代表) / FAX.03-3726-7816



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。